

オオウスバカゲロウ

Heoclisia japonica (Hagen)

アミメカゲロウ目ウスバカゲロウ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

なし

選定理由

平野部においては、近年の記録がなく激減したものと思われる。また、海岸砂地においても土地造成や農耕地化によって、生息地が減少している。

形態

体長45mm、開張10cm前後の大型種である。翅は白色がかっているが透明で、褐色の斑紋が点在する。頭部や胸部、脚は長毛で被われている。

国内分布

北海道から九州に分布する。

県内分布

現在の確実な生息地は、加賀市、小松市、金沢市の海岸部のみである。過去に金沢市の内陸部や白山市（旧鶴来町）で記録があるが、現在生息している可能性は低い。

生態

幼虫は砂地に潜み、コガネムシやガの幼虫などの大型種を捕食する。成虫は7月から9月に出現し、ガを捕食することが知られている。成虫は灯火に飛来する。

生息地の条件

幼虫の生活できる砂地の存在が重要である。海岸部や湖岸、河川敷などの雑草がまばらに生える砂地帯が本種の生息地になるものと思われる。また、成、幼虫ともに大型昆虫を食する肉食性なので、エサとなる大型種の生息できる自然環境が存在することも重要である。

生存の危機

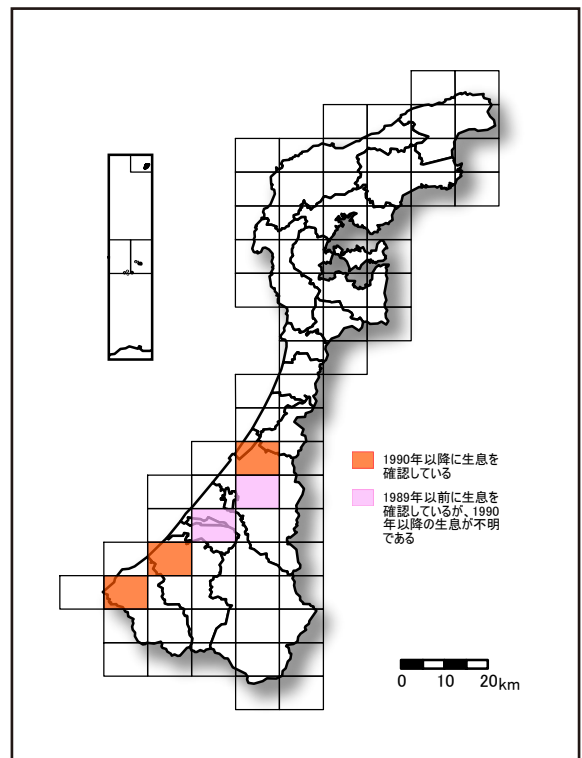
平野部においては、宅地化、農耕地化、河川敷における砂地帯の消失などによって、本種の生息地は激減したものと思われる。海岸部においても、護岸工事や土地造成の影響を受け、砂地帯が狭小化して生息地が悪化、消滅している所が多い。海浜植物帯に配慮した土木工事を実施すべきである。(A)

参考文献

富樫一次 1998. アミメカゲロウ目. 石川県の昆虫 : 100-101. 石川県自然保護課.



標本提供者: 富沢章



県内の分布